



姫路市における自治会の現状と課題

- 1 姫路市の自治会の概要
- 2 姫路市における自治会の現状と課題
- 3 （仮称）姫路市自治会加入促進条例について

1 姫路市の自治会の概要

姫路市の自治会の概要

姫路市連合自治会

・ 72地区連合自治会の連合体

地区連合自治会
(72団体)

単位自治会（町自治会）
(922団体)

- ・自治会(町内会)は、地域住民が組織するコミュニティ団体
- ・住みよい環境づくりや安全・安心な地域づくりを進める
- ・住民同士の交流・協力・つながりを育てる
- ・災害時の助け合いや情報共有にも役立つ

加入世帯数	推計世帯数	加入率
203,474世帯	230, 941世帯	88.1%

(令和8年4月1日現在)

姫路市連合自治会	72地区連合自治会で組織され、各自治会の連絡・調整を図り、行政と協働して住民福祉の向上と市政の発展に取り組んでいる
地区連合自治会	概ね小学校区を単位に構成され、地区内の連携調整や行政との連携、地域活性化など、町自治会の枠を超えた活動を行っている。
単位自治会（町自治会）	一定の区域に住む住民が協力し、豊かで住みやすい地域づくりを進める、最も基礎的な地域コミュニティ組織。

自治会の主な活動

• 交流活動

ふれあいイベント、運動会、
盆踊りなど



• 環境美化活動

清掃、除草、
ごみステーション管理、緑化



• 防犯・防災活動

パトロール、避難訓練、
防犯灯の維持管理



• 情報伝達活動

広報紙の配布・回覧、
掲示板での案内



• 伝承文化の継承

祭り、踊り、史跡管理など



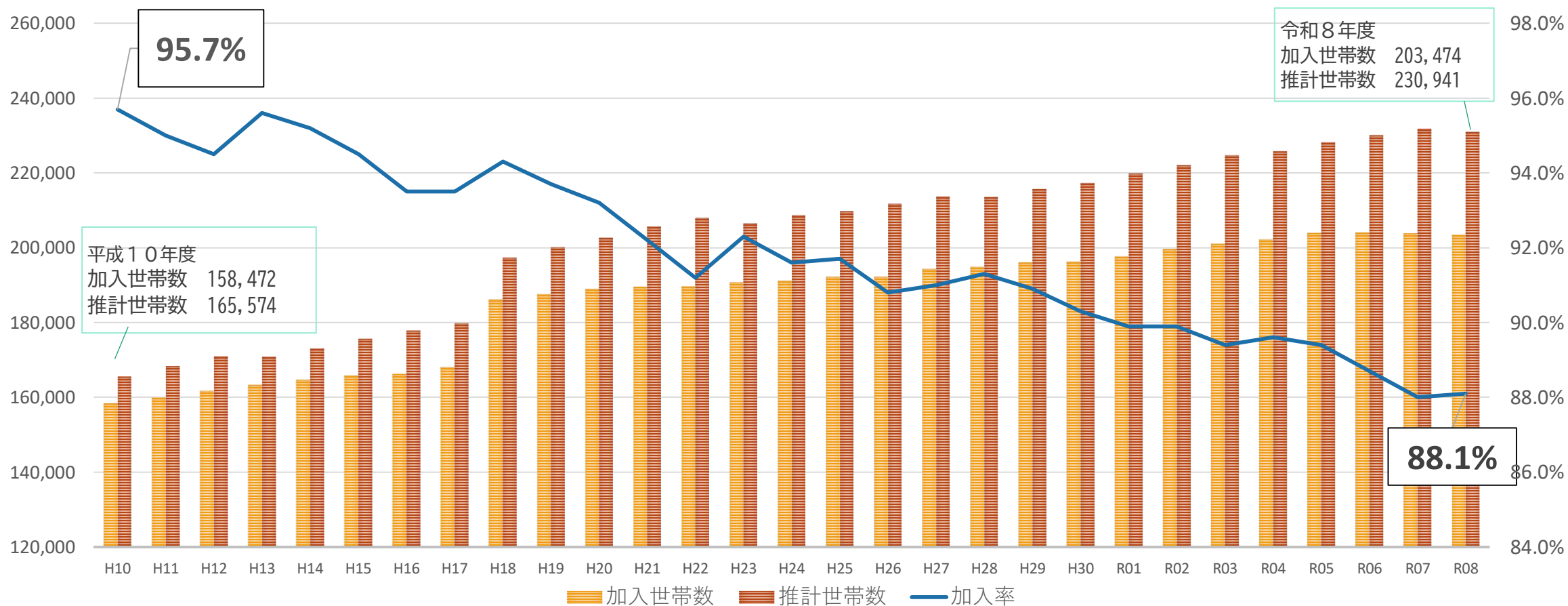
• 自治会の運営

- 地域内の課題解決のための調整
- 行政への要望のとりまとめ
- 地域の各種団体(婦人会、老人クラブ、子ども会、PTA、民生児童委員、消防団)との協力による地域の発展・維持への取り組み

2 姫路市における自治会の現状と課題

姫路市における自治会加入率の推移(平成10年度～令和8年度)

- 加入世帯数は増加した一方で、推計世帯数の増加が上回り、加入率は低下。
- 令和8年度は**88.1%**となっており、平成10年度比で**7.6**ポイント低下している。



※H18年3月、旧安富町、旧家島町、旧香寺町、旧夢前町との市町合併により世帯数増

自治会を取り巻く現状



単身世帯の増加

全世帯数に占める単身世帯の割合

【2005年】24.3%



【2020年】33.7%

出典：国勢調査を元に姫路市が作成

- ・ 隣に誰が住んでいるかわからない
- ・ 異変に気づきにくい

多世代同居の減少

三世代同居世帯数

【2005年】15,024世帯



【2020年】10,053世帯

出典：国勢調査を元に姫路市が作成

- ・ 核家族化の傾向
- ・ 子育て世帯の負担が増加

65歳以上の就業率の増

65歳以上の市民のうち、就業している割合

【2005年】16.1%



【2020年】21.1%

出典：国勢調査を元に姫路市が作成

- ・ 仕事をしている高齢者が増加
- ・ 地域活動に参加する高齢者が減少している

姫路市に住民登録をしている外国人の増

住民基本台帳人口(外国人)

【2016年】10,127人



【2026年】15,026人

出典：姫路市の推計人口(各年4月現在)

- ・ 地域住民の中に外国人が増加
- ・ 生活慣習や文化の違いによる近隣トラブルの増
- ・ 言葉の壁などによりルールなどの周知が難しい

市民意識調査(令和7年度)の結果より

【設問】地域団体の活動にどの程度参加されていますか

※単数回答

集計結果	R2割合	R7割合	R2→R7
1 積極的に参加している	15.2%	12.6%	-2.6%
2 ときどき参加している	28.3%	30.1%	1.8%
3 あまり参加していない	22.4%	25.2%	2.8%
4 まったく参加していない	30.4%	31.2%	0.8%
無回答	3.7%	0.9%	-2.8%

「積極的に参加している」+「ときどき参加している」

R2：43.5% R7：42.7%

R2年度→R7年度：-0.8%

「あまり参加していない」+「まったく参加していない」

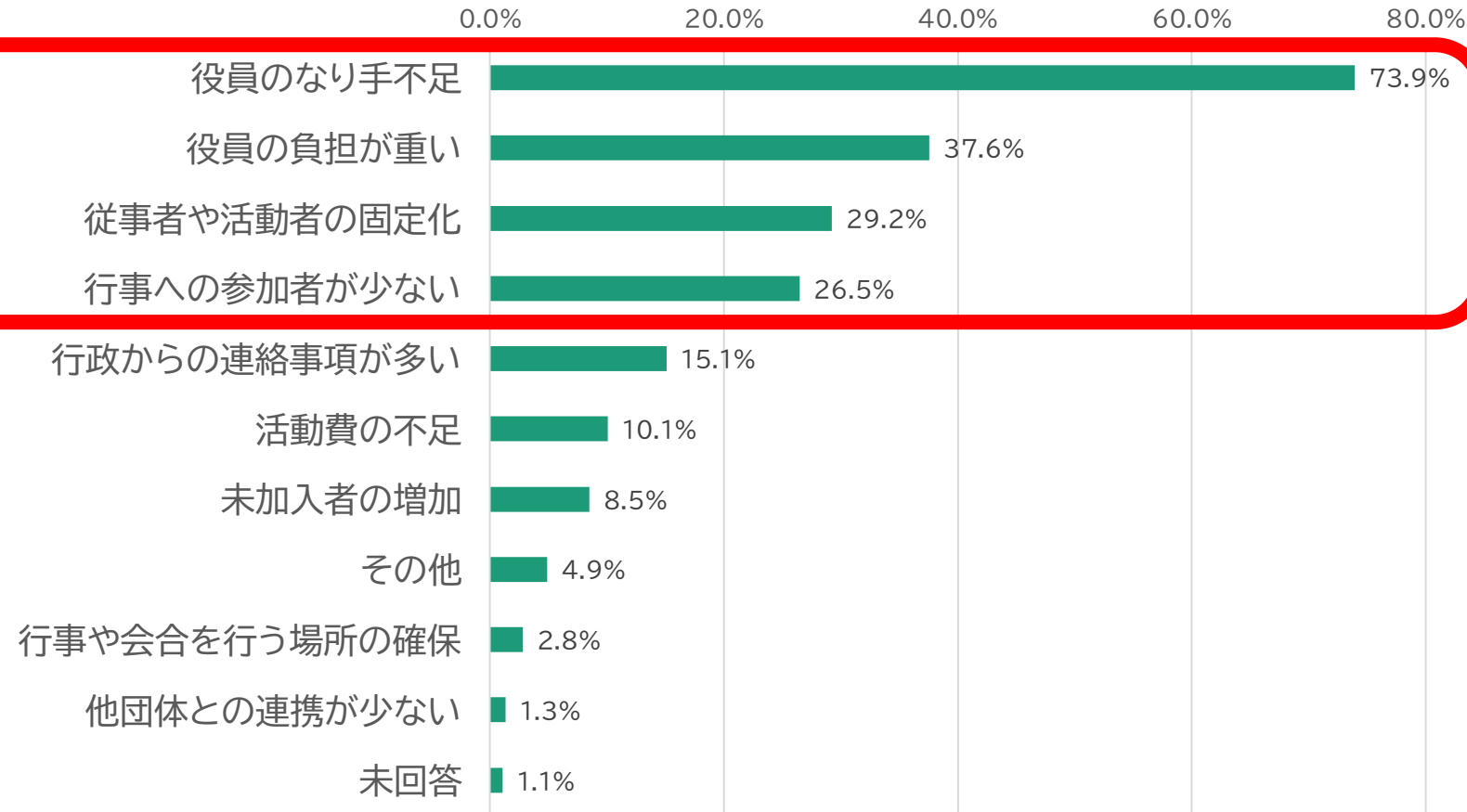
R2：52.8% R7：56.4%

R2年度→R7年度：3.6%

地域団体活動への参加は全体として
やや低下傾向にある。

自治会アンケート(令和6年度実施)の結果

【設問】自治会活動をする上での悩み ※複数回答

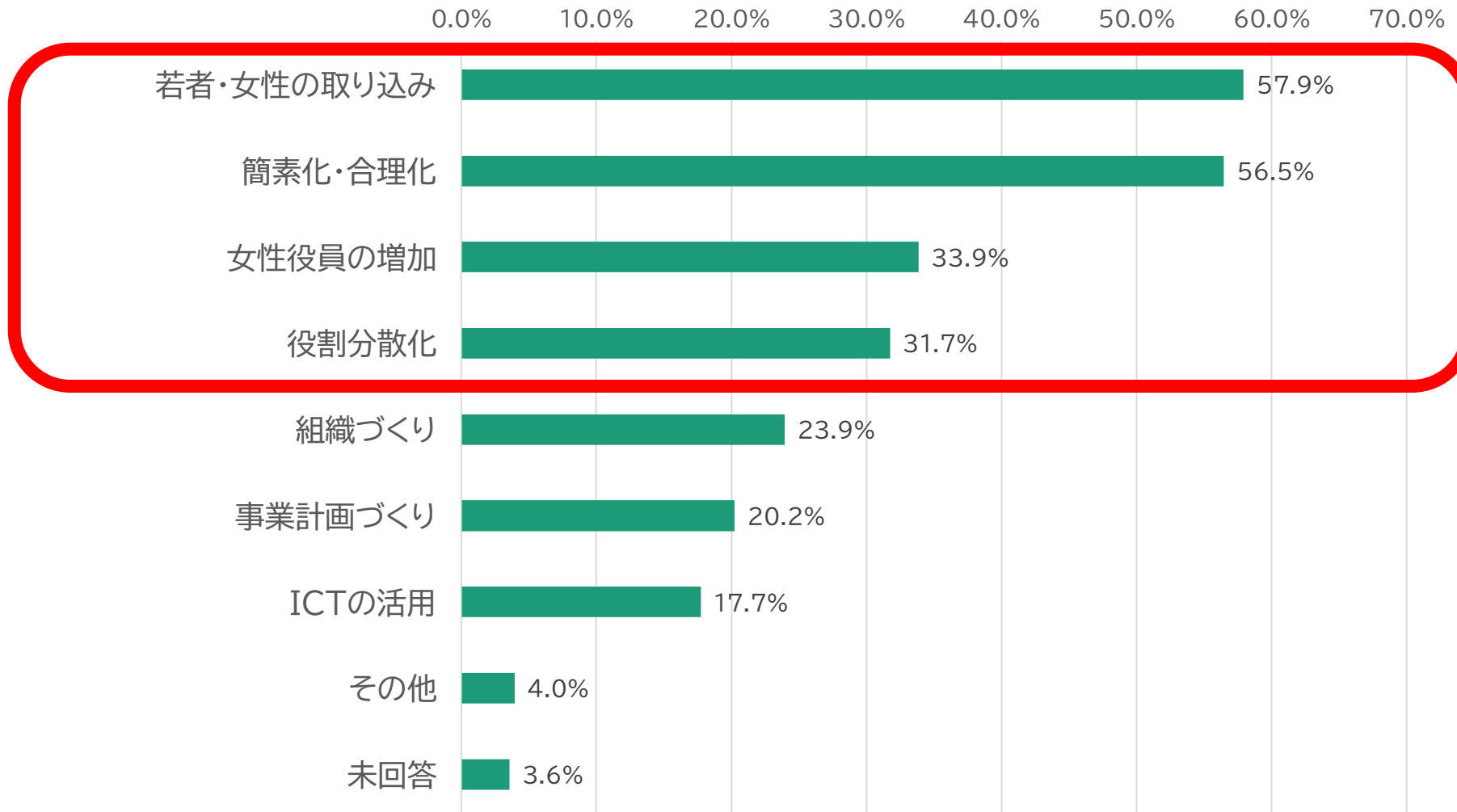


- 自治会役員の確保が最も大きな課題
- 役員の負担軽減や活動の担い手の固定化解消が求められている

自治会アンケート(令和6年度実施)の結果

【設問】自治会活動で、将来にむけて必要と考える取組

※複数回答

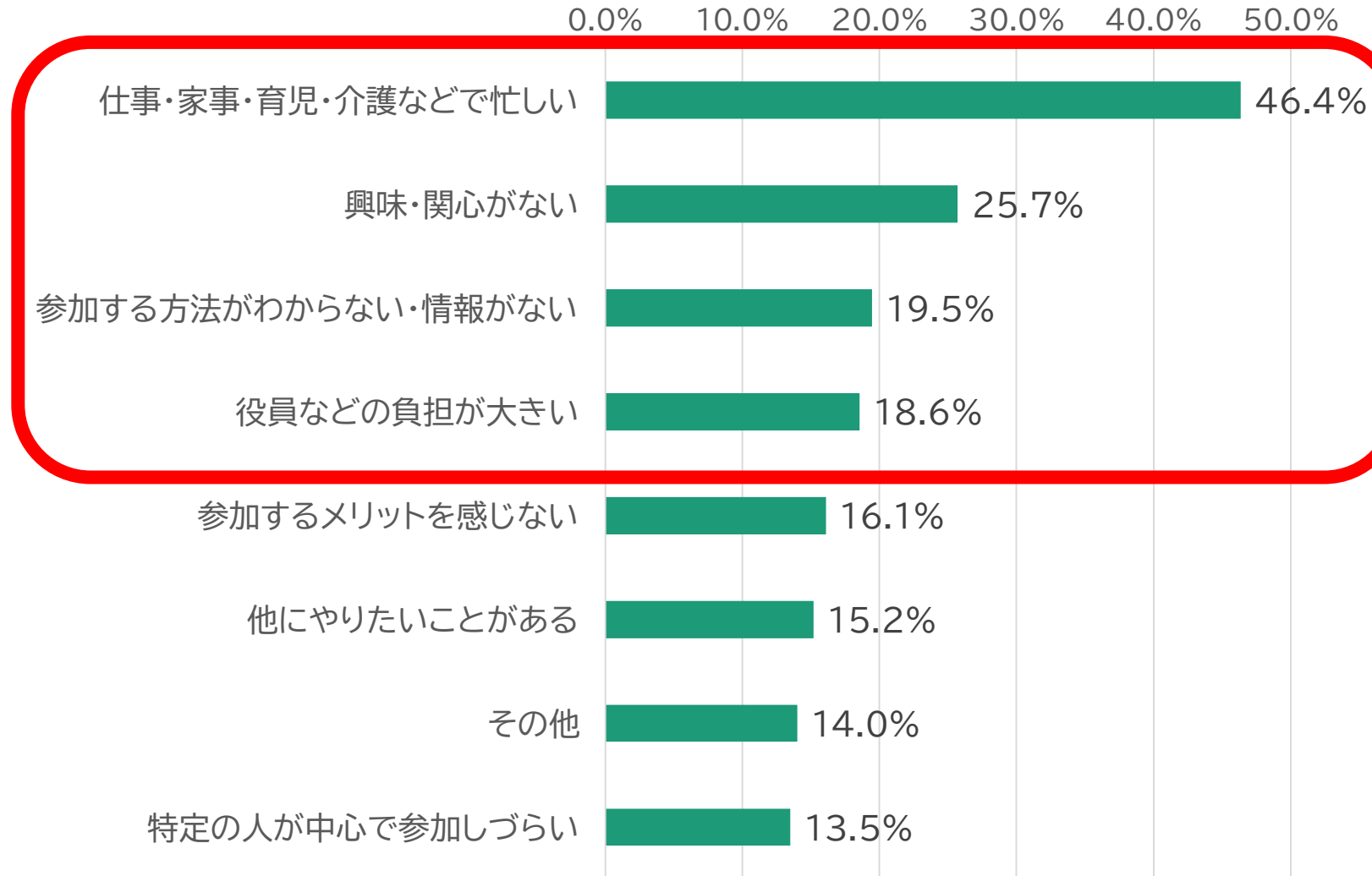


- 担い手の確保とともに、活動負担の軽減や運営の効率化が強く求められている。
- 役員構成の面では、女性の参画をさらに進める必要性も示されている。

市民意識調査(令和7年度)の結果より

【設問】地域団体の活動に参加されていないのはなぜですか

※複数回答



- 「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」が46.4%で最も多く、時間的制約が参加を妨げる主要因となっている
- 「興味・関心がない」「参加する方法がわからない・情報がない」「役員などの負担が大きい」が続いており、関心の低さに加え、情報不足や負担感が要因として挙げられている。

自治会の現状と課題について(まとめ)

- 自治会加入率が**88.1%**となっており、他都市に比べて自治会の組織基盤は維持されているが、加入率が低下傾向となっている。

(中核市における加入率の平均は**64.3%**※令和7年度都市要覧(統計資料))

- ライフスタイルや価値観の多様化により、地域活動への関心の希薄化が進み、活動の参加者も減少傾向となっている。
- 自治会の運営では担い手不足が顕著となっており、新しい世代や女性の取り込みが課題となっている。
- 住民登録を行う外国人が増加し、地域を構成する一員として存在感が増している。

- 地域活動の重要性について、改めて市民に理解してもらう必要がある。
- 地域における担い手不足を補うため、新しい世代や女性、定住外国人などの多様な主体の参画が求められる。
- 共に市政を推進するパートナーであることから、自治会の加入率の減少に歯止めをかけることが急務であり、これらの課題に対応し、その取組を力強く推進する必要がある。

自治会活動の重要性について

自治会の活動は、災害時の支え合い、防犯、生活環境の維持など、日常の安心を支えるもの

防災・災害対応

- ・ 災害発生時の避難所運営
- ・ 要支援者(高齢者や障害者)の安否確認
- ・ 地域における防災訓練の実施

防犯・見守り

- ・ 地域の防犯カメラや防犯灯の設置・維持管理
- ・ 子ども見守り隊として、地域の防犯パトロール等を実施

生活環境の維持

- ・ ごみステーションの設置及び維持管理
- ・ 公園や道路の清掃、除草
- ・ 広報誌の配布や回覧、掲示板などを通じた情報共有

地域のつながり

- ・ 地域の高齢者の見守り
- ・ 地域行事による交流を通じた顔の見える関係づくり

その他

- ・ 地域の文化財の保存

なくなってしまうと・・・**地域の安全や暮らしやすさが失われる**

3 (仮称)姫路市自治会加入促進条例について

条例制定の目標

- 自治会の加入率低下や担い手不足に対応するとともに、災害対応などにおける地域活動の重要性から、**自治会を共助の基盤として位置付ける**
- 自治会の重要性について**市民と理念を共有し**、自治会と市の連携を深め、将来にわたり持続可能な地域社会を構築する
- 地域コミュニティの維持のために、**市・自治会・市民・事業者等の主体が果たすべき役割を定義**

条例制定にあたって

①自治会アンケートの実施

- 自治会の会費等の基本情報、自治会活動の現状と課題、自治会の加入促進について、対象別の加入状況について、女性・現役世代の参加について、市との関係、条例・自治会に関する意見
- 調査期間：令和8年7月29日(水)～8月17日(月)
- 単位自治会長あてに郵送、郵送で返送またはWEBにて回答

②市民向けアンケートの実施

- 自治会についての意見(加入者及び非加入者)全7問
- 調査期間：令和8年8月10日(月)～8月31日(月)
- 姫路市公式LINEにて実施(WEBアンケート おともだち登録なしでも回答可)

集計結果については、条例制定の基礎資料とするとともに、審議会での検討事項と併せて具体的な施策検討の資料とする。